

よくあるご質問

01

Spotify が Apple に対する訴えを行なったのはなぜですか？

私たちは欧州委員会に、Appleの行為は消費者の利益を損ねるものであり、明白な法律違反であるとの訴えを提出しました。Apple は、iOSプラットフォームとApp Storeのオーナーであると同時に、Spotifyのようなサービスを手がける企業にとっての競争相手でもあるのです。これだけなら問題はないのですが、今回のAppleの場合は、Appleがオーディオストリーミングの分野で、審判とプレイヤーという両方の立場を兼ねていることを毎回乱用し、Apple Music に不当な優位性を提供し続けているのです。

02

Apple の行為がどのように競争相手を妨害しているのですか？

Apple は、自分たちがプラットフォームを支配していることを利用して、Appleにとって重要性が増している音楽ストリーミング、ポッドキャスト、動画、オーディオブック、ゲームなどのサービスと同種のサービスを提供するだけで、競合企業を不当に不利な立場に追いやり、不利益を与えています。様々なプレイヤーが競うからこそ、消費者に利益がもたらされるのであり、そのプレイヤーを決めるのはAppleの役割ではありません。Appleは、競合相手への妨害を止めて、フェアな競争を促すべきです。フェアな競争の場を作れば、消費者が得をするのです。

03

これは、そんなに重要なことなのですか？

プラットフォームの運営事業者、つまり、インターネットにおける「ゲートキーパー」としての立場を悪用していると思われる企業への調査が増えているという報道を読んだことがあるかもしれません。これは、重大な問題になっており、そうした悪用から反競争的な環境が作りだされないようにと、立法機関や消費者団体、その他のグループが世界中で注視している問題なのです。インターネットにつながるためには、何十億もの人々がApple及びその他少数のプラットフォームに依存せざるを得ません。私たちは、ただ指をくわえて、こうした問題全てが解決するようにと願っているわけにはいかないのです。なぜなら、これが放置されれば、将来、いっそう深刻で手のつけられない問題になるからです。これは単にSpotify対Appleの問題ではありません。それよりもっと大きな問題で、より深刻な危機が迫っているのです。

04

具体的に Apple はどのような行為をしているのですか？

簡潔に言うと、Appleは、節約につながる機会や、私たちが提供したい様々な特典を享受する機会を消費者から意図的に奪っています。Apple は、Apple Storeのアプリ内課金サービスを利用するSpotifyのような競合相手に対し、30%の税を課そうとしています。もし私たちがAppleのアプリ内課金を利用した場合、ユーザーの皆さんに対して値上げせざるをえなくなります。しかし、私たちがこの税の支払いを拒否すれば、Appleは私たちや私たちのユーザーに支障をきたすような一連の制裁を行なってくるのです。例えば、Appleは、iOS上でSpotifyアプリを利用しているユーザーに対し宣伝をさせてくれません。先月も私たちは、ユーザーの家族がプレミアムプランにお得にアップグレードできたはずのキャ

ンペーンを提案できませんでした。私たちがユーザーに通知することすら許可されなかったのです。アプリ経由でどこからどうやってプレミアムプランにアップデートすれば良いかという基本的なことさえ、私たちは伝えることができないのです。Appleは、バグの修正やアプリの改善などの内容を問わず私たちのアプリのアップデートを妨害する口実として、ガイドラインに記された規約を盾に取ります。こうして、私たちが誇る最新かつ最高のイノベーションをユーザーに届けることが困難になり、また時には不可能になってしまいます。

これに加え、Appleは他の方法でも消費者にApple Musicを使用するように誘導しています。ようやくSiriに指示してSpotifyでお気に入りのプレイリストを再生できるようになりましたが、Spotifyをデフォルトの音楽プレイヤーとして選択することはできないため、私たちは依然として非常に不利な状況にあります。毎回オーディオを再生する際に「Spotifyで『X』をかけて」と我々の名前を出して指示しない限り、SiriとAppleデバイスはデフォルトでApple Musicを起動するのです。

05

Apple の行動は、創造性とイノベーションをどのように制限しているのでしょうか？

Spotify は、逆境の中で創業し、自分を強く信じて、とことん戦い、その強い信念と多大な努力のために報われるという物語を誰よりも愛しています。それこそが私たちの物語であり、そして多くの人たちも、このような体験をすることを願っています。でも、この物語を実現させるためには、起業精神に応える環境が必要です。そうした環境があつてこそ、今にも飛び立とうと奮闘している企業も、成功のチャンスに公平に巡りあえるのです。不公平な行為や市場での権力乱用に対して、声を上げ、共に戦うかどうかは、私たちにかかっています。同時に私たちは、こうした悪行から守ってくれる法律を頼れるようになる必要がありますし、私たちの業界に、真に意義ある競争を支持する環境を根づかせるべきなのです。

06

Spotify も当初はAppleの条件に同意していましたが、何が変わったのでしょうか？

Spotify が Apple について経験したことは、古典的な「おとり販売」でした。AppleでSpotifyアプリの配信が開始された時は、今とまったく異なる状況でした。しかしやがてAppleは、一方的にルールを何度も変更して、Spotifyや他のアプリ開発者にとって、どんどん不利になるようにしていったのです。Appleによる規制が激化し始めたのは、Apple が私たちのライバルの音楽ストリーミングサービスを買収して、Apple Musicの開始に向けた準備を始めた後でした。Spotifyは、その何年も前から、音楽ストリーミングを世界中のユーザーに提供していました。Spotifyのようなすでに地位を確立した競争相手に直面した Apple は、私たちのようなライバルには不利になり、自分たちのサービスには都合が良くなるように、App Store の規約遵守というのゴールポストを激しく動かし始めたのです。

07

Spotify は、App Store で、Appleのテクノロジーや投資にタダ乗りするつもりなのでしょうか？

タダ乗りしたい訳ではありません。私たちは、フェアであることを望んでいるだけです。

私たちが求めているのは、特別待遇ではなく、公正な場において競う機会です。また、これははっきりさせておきたいのですが、App Store が今日のように成功している陰には、Spotify のような第三者アプリの功績が大きいといえます。私たちが、消費者をApp Store へ誘導して、iPhone をより長く使い続けてもらえるようにすることに一役買ったのです。AppleとSpotifyは両者双方にとって有利になる関係から始まりました。しかし、Appleは、すぐに競争の場を自分たちの有利になるように歪めたのです。

08

Spotify に勝ち目がなくなるような環境を、Apple が創ったように聞こえるのですが？

そのとおりです。Apple は、iOS の App Store を支配するゲートキーパーです。しかし、Spotify のような企業にとって、App Store 内では彼らは競争相手でもあります。ご承知のように、Appleはスマートフォン販売企業において最大手の一社であり、iOSは私たちのサービスをiPhone利用者に届ける唯一の方法です。故に私たち Spotify や、競合するサービスを提供するどんな企業にとっても、Apple のプラットフォームを使わないという選択肢は無いのです。

09

では、Spotify に何ができるのでしょうか？

Apple の反競争的な行為は、2つの最悪の選択肢のうち、どちらかマシな方を選ぶように私たちを追いやりました。

- 私たちが最初に検討した選択肢は、正当性のない30%の税を払って、彼らの決済システムを利用すること。でも、それをすると、私たちはApple Musicと競争できるレベルの価格を維持することができなくなります。それに私たちは、ユーザーの皆さんに、本来必要のない追加の支払いを求めたくはありません。
- 2つ目の選択肢は、30%の税を拒否して、彼らの決済システムを全く利用しないこと。でも、それをすると、iOS上でプレミアムプランにアップグレードできなくなるため、ユーザー体験は低下します。私たちのユーザーは、好きなオーディオコンテンツを、好きな方法で、手軽に入手できることを、Spotifyのような企業に期待しているのに、それがいっそう困難になるのです。話はこれだけではありません。Appleは、Spotifyのようにこの選択肢を選ぶ全てのアプリ開発者に対して、彼らの事業にマイナスの影響を与えるために作られた規制を課し、不利益を与えているのです。

10

Spotifyはどのような選択をしましたか、そしてその結末は？

30%の税を相殺するために、Spotifyは最初、価格を月額9.99ユーロ(約1,262円)から12.99ユーロ(約1,642円)に引き上げました。そうしたところ、Apple Musicが月額9.99ユーロ(約1,262円)で配信を開始しました。彼らには、同じ30%の税はかからないからです。そこで、Spotifyは、他のアプリ開発者のように、Appleの決済システムを利用しないことにしました。その結果として、iOS上アプリ内で、プレミアムプランを販売することができなくなりました。しかも、これで終わりではありませんでした。彼らは、私たちへの締め付けをさらに厳しくしており、私たちが自分たちの使命に最も添う道、そして私たちの事業が未長く生き残るための唯一の道を選んだことで不利益を被っています。

11

Spotifyはどのような救済を欧州委員会に求めているのですか？

私たちは、公正な場でフェアに競いあえるようになりたいのです。そのためにも、Spotifyは、Appleのプラットフォーム経由でSpotifyを利用することを選んでくれたユーザーと自由に直接コミュニケーションをしたいと願っています。私たちはユーザーがプレミアムプランにアップグレードするための支払い方法について選択肢を提供したいのです。また、私たちのチームがユーザーのために企画・開発したあらゆるオプションサービスを自由なタイミングで提案したいのであり、Appleにそのスケジュールまで命令されたくないのです。

12

欧州委員会への訴えについて、どのようなプロセスをたどることになりますか？ また欧州委員会は、この件について何ができるのでしょうか？

Spotifyは、欧州委員会に対し訴えを申し出ました。欧州委員会は、これについて調査を行うかどうかを決定することになります。私たちは、欧州委員会が有効な救済措置を講じ、全ての企業がフェアに競争できるようになり、その結果として消費者が利益を得ることを望んでいます。私たちは、欧州委員会が速やかに行動することを願っていますが、彼らが本件について慎重に検討し、精査をする必要があることも十分に理解しています。私たちは、Appleが消費者の利益を損ねていることを示す証拠を十二分に提出したと自負しています。

13

米国ではなく、ヨーロッパで申し立てを行ったのはなぜですか？

Spotifyは、ヨーロッパを拠点に活動する企業であり、本部はスウェーデンのストックホルムにあります。ですから、本件はヨーロッパ法の下で追及する方が理にかなっているといえます。しかし、本件は明らかに、ヨーロッパや米国に限られた問題ではありません。将来的には、他の地域でも検討される必要が出てくるでしょう。なぜなら世界中の監督機関が消費者の利益を最優先に考えているからです。

